

中国コロナ急増、医療逼迫 「死者1日5000人超」推計も

2022年12月23日日本経済新聞



多くの人で混雑する病院の救急患者窓口（23日、広東省広州市）

中国で新型コロナウイルスの感染者が急増し、医療体制が逼迫している。病院は人手不足が深刻で、病床や医薬品などが足りないケースも目立つ。感染者は12月だけで2億4千万人に達し、1日当たりの死者数は5千人を超えたとの指摘もある。中国政府は対応が後手に回るだけでなく、外国製ワクチン受け入れにも消極的で、内外から懸念や批判が強まる。

「コロナの陽性になった医師や看護師は少なくないが、症状が軽ければみな出勤している」。江蘇省南京市の病院で働く小児科医師の王さんは打ち明ける。王さん自身も感染して体のだるさなどの症状がある。

それでも、働き続けなければならない。「最近を受診件数が倍増し、病床を増やしたが満員状態が続く」ほど忙しいためだ。

「一日も休みなく勤務している。人が足りない」。広東省深圳市の病院の発熱外来に勤務する医師もこう訴える。多い日は1日1500人超の患者が来院し、限られた人手で対応する。「発熱外来と感染症科が受けているプレッシャーはかなり大きい」

中国では新型コロナの感染封じ込めを狙う「ゼロコロナ」政策の緩和を打ち出した12月7日以降、感染が急拡大した。

香港紙・明報は23日、ネットに流出したとされる当局の会議資料を根拠に、12月1～20日に累計2億4800万人が感染したとの推計値を報じた。全人口の約18%がすでに感染し、北京市と四川省では50%を超えたという。上海市の総合病院、上海徳済医院は21日、SNS（交流サイト）で「上海の人口の2割超にあたる543万人がすでに感染したよ

うだ」との推計値を公表した。

感染急増に伴い、医療機関では人手不足が深刻化する。各地では12月以降、退職した医療従事者を再雇用したり、医学生を動員したりする動きが広がる。香港メディアによると、北京でも人員が足りず、他地域から数百人の医師や看護師が集められた。



消毒液や治療薬を探して薬局を訪れた上海市民（21日）

一部地域では、病床や薬の確保も追いつかないようだ。SNS上では、患者が病院内に入らず、外で点滴を受けているとされる動画が出回った。深圳市の医師は「薬が足りず、患者に解熱剤を3錠しか処方できない」と説明する。

コロナ感染増の余波は、病院機能全体をマヒさせつつある。

献血の減少もその一つだ。「毎日500人分の血液が必要なのに100人にも届きません。妊産婦や重症患者の救急に支障が出ています」（雲南省昆明市）。「（血液のすべての成分を提供する）全血の方には100元（約1900円）の商品券などを提供します」（広東省広州市）。各地の献血センターは必死に協力を呼びかける。

救急車の出動も一部で追いつかなくなっている。上海市政府は22日、日本の119番通報に相当する「120」について、発熱しただけや軽症の場合は利用を控えるよう市民に呼びかけた。市政府は「本当に救急が必要な人に、救急車を残してほしい」と訴える。

医療現場の混乱により、コロナの感染者や高齢者、疾患のある人たちの治療にもしわ寄せが出ている可能性がある。北京や広州の一部の葬儀場では、ゼロコロナの緩和後に葬儀件数が急増している。

中国国家衛生健康委員会の発表では、中国本土のコロナによる死者は12月以降で約10人にとどまる。

実相を反映しているとは言いがたく、英医療調査会社エアフィニティは21日のレポートで「1日当たりの感染者が100万人、死者は5千人を超えた可能性がある」と推計。感染

中国は感染・死亡が急増したもようだ

感染者数

発表元	推計値
英エアフィニティ	1日100万人超 (21日推計)
	1日370万人(1月のピーク時)
ゴールドマン・サックス	1日500万人～ 1300万人(12月下旬～1月上旬)
香港紙・明報など	累計2億4800万人 (12月1～20日)
中国衛生当局専門家	累計1.4億人～4.2億人(今冬)※

死者数

英エアフィニティ	1日5000人超 (21日推計)
香港大の専門家ら	累計63万人～96万人(時期は明示せず)※
米保健指標評価研究所(IHME)	累計100万人超 (2023年中)

(注)※は感染・死亡率のみ発表、数値は日経算出

者数は1月にピークを迎え、1日あたり370万人に達すると予測した。米保健指標評価研究所

(IHME)も死者は23年中に100万人を超えるとみる。

急激な政策転換に踏み切った中国政府に対し、懸念や批判も出始めた。「準備不足だし、優先順位が間違っていた。大規模PCR検査などに何十億元も費やしたが、その資金を医療インフラに投じていれば結果はどれほど違っただろうか」。香港紙サウスチャイナ・モーニング・ポストの元編集長である王向偉氏は23日、同紙に寄稿した。

世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長も21日の記者会見で「中国で重症患者の報告が増え、事態が悪化していることを非常に懸念している」と述べた。

今後、中国政府が取り得る有効策の一つが、高齢者などへのワクチン接種の加速と、海外製ワクチンの輸入だ。

WHOは「ワクチン接種を支援す

る」と表明、独ビオンテックも同社のワクチンが21日に中国に届いたと発表した。中国に外国製のワクチンが届くのは初めてとされる。

ただ当面は中国在住のドイツ人だけに投与される予定だ。中国政府は外国製ワクチンの受け入れには慎重な姿勢を変えておらず、医療逼迫や重症患者を抑える手立ては見当たらないままだ。(広州=川上尚志、渡辺伸)